

世界をリードする力

国際社会における次世代のリーダーには、語学力はもちろん、コミュニケーション能力、国際感覚、論理的思考力、討論力、自律性などが求められます。慶應義塾大学理工学部には、単に語学を学ぶだけでなく、発表や討論、実地研修などを通して、多様な価値観や文化を理解するプログラムが多く用意されています。

英語での討論や発表が語学力を向上させ、論理的思考力や表現意欲を高める。



留学などを通じて語学力に磨きをかけ
グローバルに活動していきたい

私が慶應の理工学部を選択した大きな理由は、多彩な学部を擁する総合大学の中で理工系の勉強ができるからでした。理系科目に興味があることは言うまでもありませんが、文系の科目にも幅広く触れていたいと思ったからです。また、入学時点で学科を決めずに、多様な学びの中から自分の志向を固めていくける学門制も魅力的でした。

これまで履修した科目の中で、特に印象深いものがグローバルリーダーシップセミナー(GLS)です。将来、英語を仕事に生かしたいと考えているので、英語で討論や発表をするプログラムは英語力を向上させるいい機会だと思いました。また、多彩な分野の専門講師による講義から幅広い知識を得られることへの期待もありました。講義内容を学生同士でディスカッションし、レポートにまとめて発表するプロセスはかなり大変でしたが、このプログラムを通して、思考力が高まり、英語での表現意欲やプレゼンテーション力も向上したと感じています。加えて、意欲の高い仲間たちと出会い、交流が続いていることも大きな収穫です。

海外で仕事をすることが私の大きな目標であり、いまの環境から一步踏み出して新しい世界を知りたいという思いも強いので、留学やダブルディグリーなどのプログラムを積極的に利用して、海外を肌で感じながら語学力をより高めていきたいと思っています。専門領域では、生命情報にすごく興味があるので、その分野の情報収集や勉強も始めていきたいと考えています。入学時にタイミングを逃してしまったので、まだサークルには所属していませんが、音楽が好きなので、2年生になつたらサークル活動にも挑戦してみたいです。

学門C入学 1年
東京都出身



外国語教育 (英語・諸外国語)

英語科目ではアカデミックな英語運用能力の習得を通じて、論理的・批判的思考力を養います。習熟度別にクラス分けされた第1・第2学年の必修英語に加えて、選択英語(総合教育科目)で「リーディング」「ライティング」「スピーキング」「リスニング」といった技能別授業を学部4年間にわたり履修できます。諸外国語は、第1学年でドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語のうち一つを選択して必修科目として学びます。これらの外国語も、目的別・レベル別のクラス(総合教育科目)で、学部4年間にわたって学ぶことができます。



グローバルリーダーシップ セミナー(GLS)

次世代のリーダーとして活躍するために、国際感覚、論理的思考力、討論力、言語力、自律性の大切さを肌で感じ、体得するプログラムです。英語そのものを学ぶのではなく、英語を使ってさまざまなテーマについて発表したり議論したりします。参加学生の多様な価値観や異国の文化を理解することで、世界でリーダーシップをとれるような国際感覚を養います。長期休暇中には、関連科目として「グローバルリーダーシップセミナー実地研修」を実施しています。



留学プログラム

学部1・2・3・4年 大学院

気軽に参加できる短期の語学研修から派遣交換留学まで、世界約140校の協定校に留学できる、多彩なプログラムが用意されています。理工系学生に特化したプログラムも多く、外国語を使って理工学を学ぶことができます。また、4学期制の中の春学期後半を利用して、海外サマースクールなどに参加できる学科もあり、単位を取得できた場合は慶應義塾の単位として認定される可能性があります。現地の文化に触れ、世界中から集まつた学生と意見を交わすことで、国際感覚が磨かれます。



ダブルディグリー プログラム

学部3・4年 大学院

慶應義塾と協定校の合意のもとで準備された一連のカリキュラムを修了すると、両校から同時に修士の学位が取得できる制度です。「学部生向け大学院一貫プログラム」と「修士課程学生向けプログラム」があり、フランスのエコール・サントラルやその他ヨーロッパ諸国有力大学院で提供される正規カリキュラムを学びます。専門分野の学習と異文化圏への理解が深まる、高度なプログラムです。

